

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の方々の役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

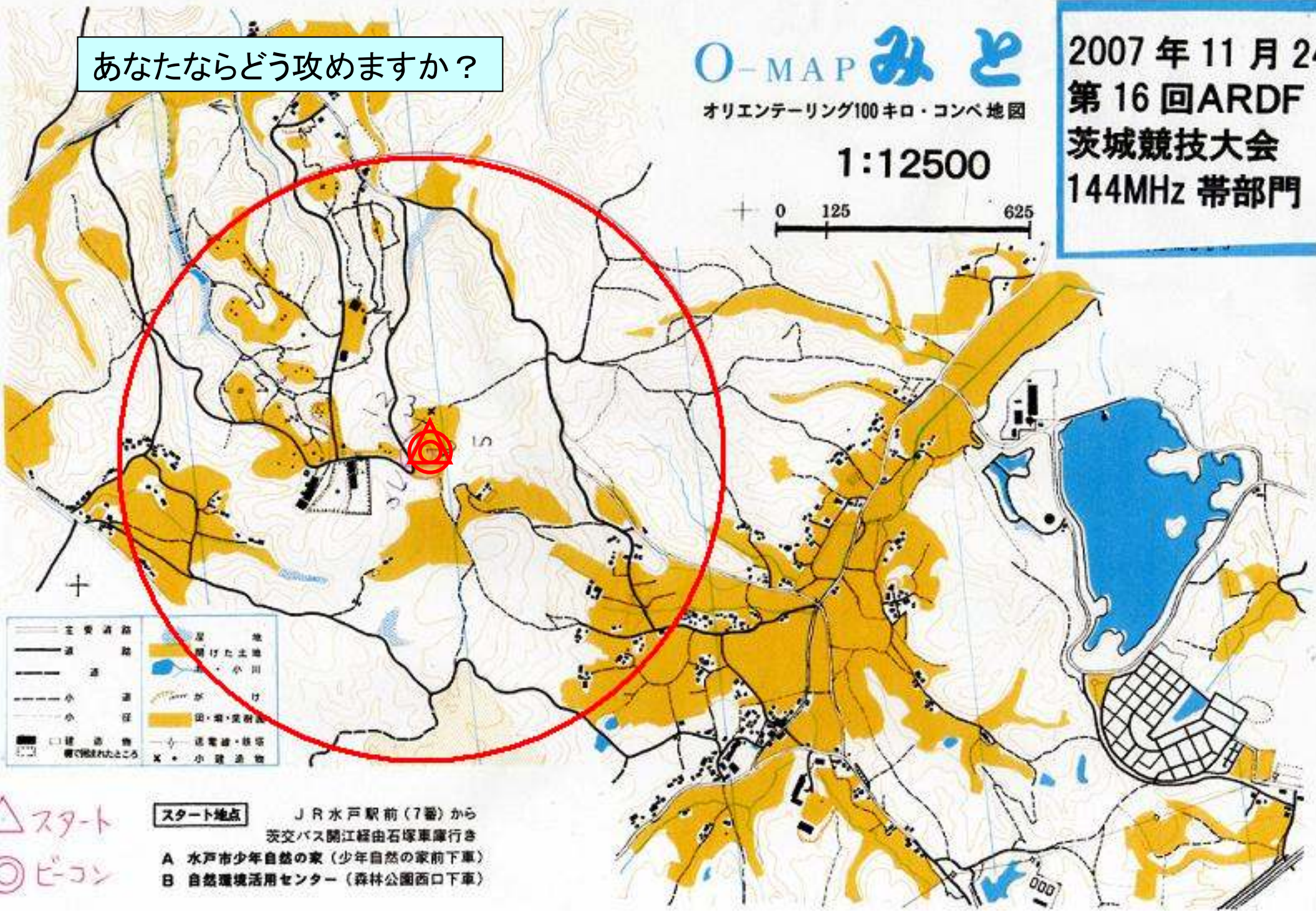
O-MAP みと

オリエンテーリング100キロ・コンペ地図

1:12500



2007年11月24日
第16回ARDF
茨城競技大会
144MHz 帯部門



—	主要道路	■	屋敷地
—	道路	■	開けた土地
—	道	■	小川
- - -	小道	—	がけ
- - -	小径	■	田・畑・栗樹園
■	建物	—	送電線・鉄塔
□	建物	×	小建物
■	建て壊れたところ		

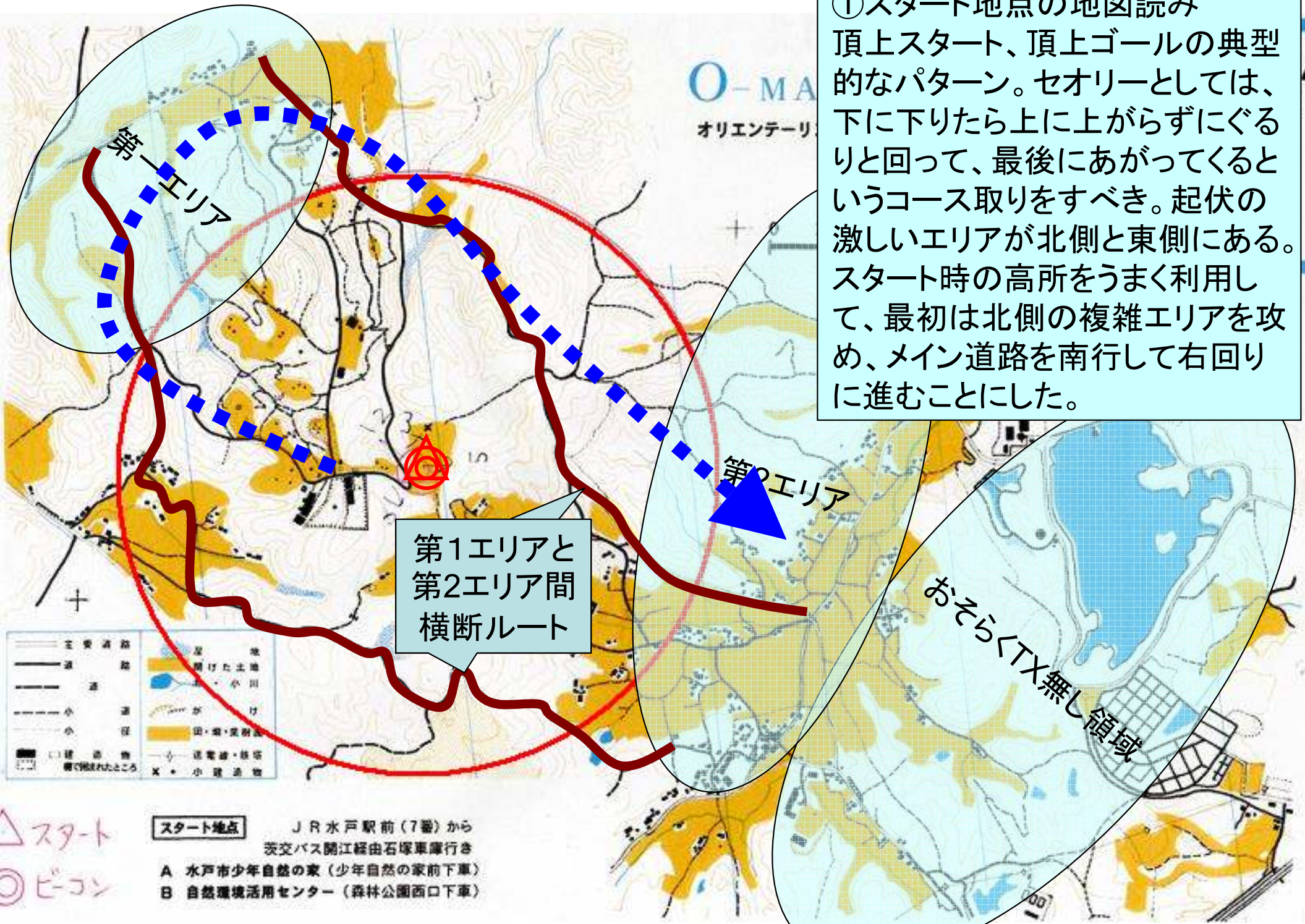
△スタート
◎ビーコン

スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
茨交バス開江経由石塚車庫行き

A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)

B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)

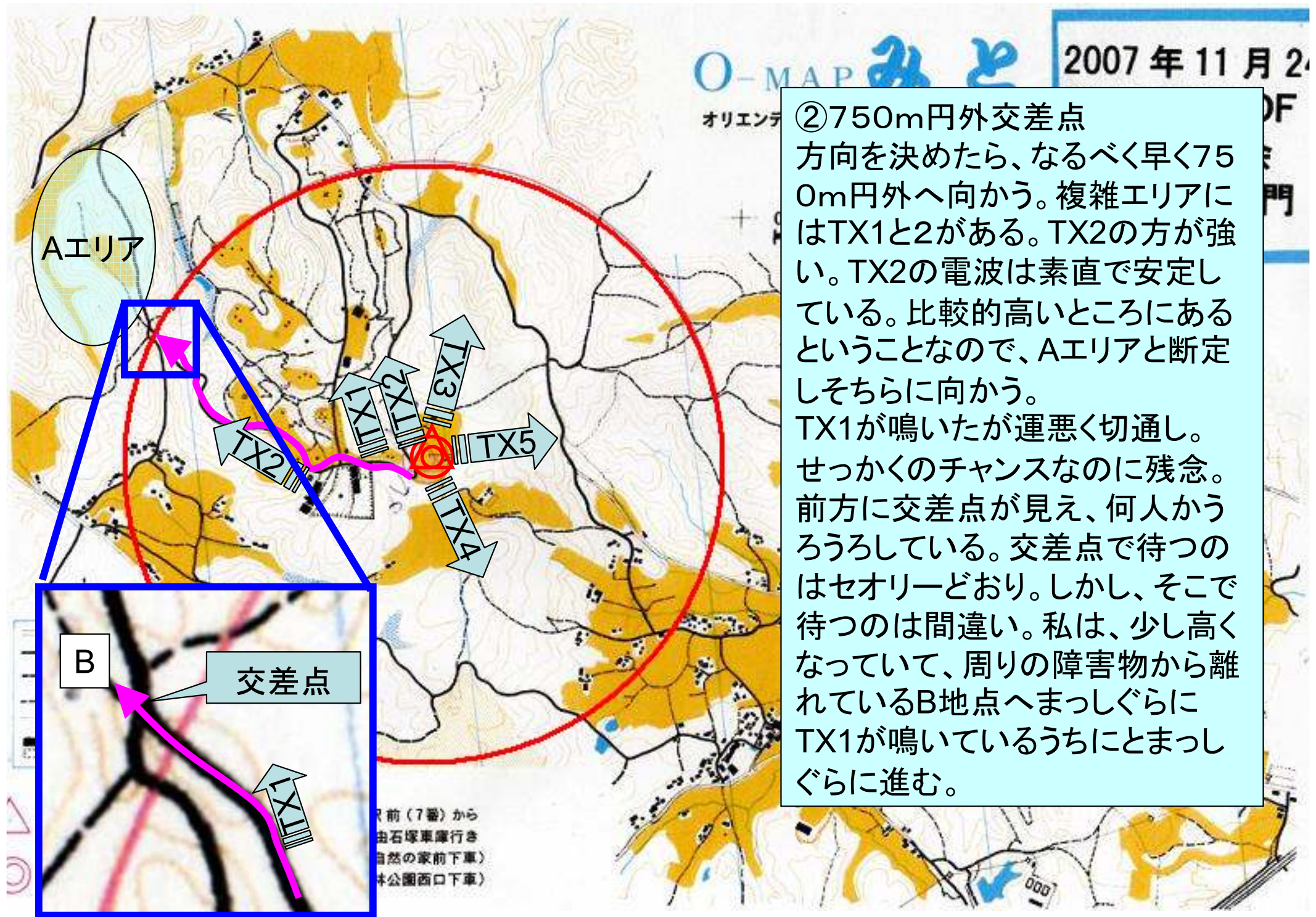
①スタート地点の地図読み
 頂上スタート、頂上ゴールの典型的なパターン。セオリーとしては、下に下りたら上に上がらずにぐるりと回って、最後にあがってくるというコース取りをすべき。起伏の激しいエリアが北側と東側にある。スタート時の高所をうまく利用して、最初は北側の複雑エリアを攻め、メイン道路を南行して右回りに進むことにした。



△スタート
 ◎ピコン

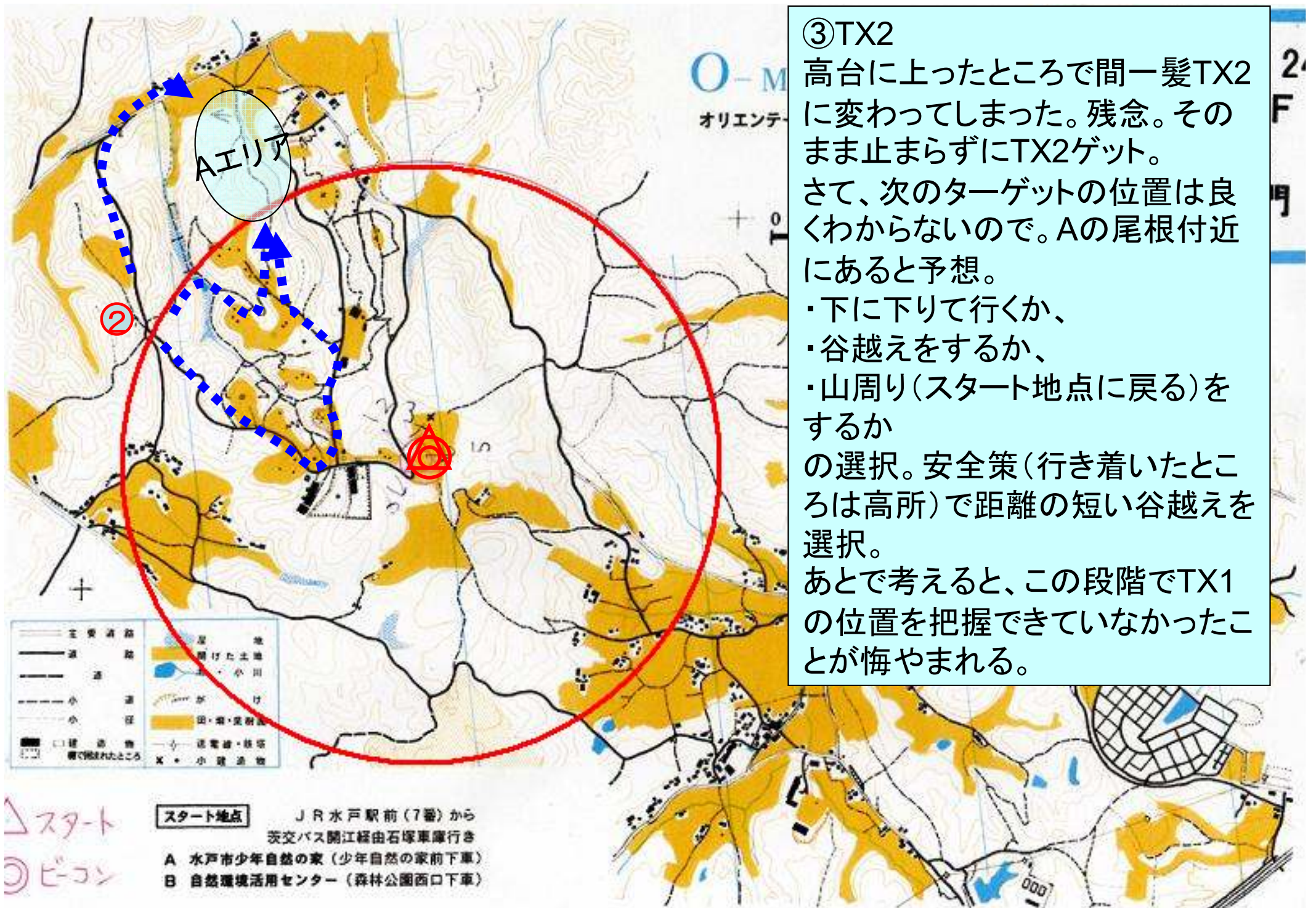
スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
 茨交バス開江経由石塚車庫行き
 A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)
 B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)

おそらくTX無し領域



②750m円外交差点
方向を決めたら、なるべく早く750m円外へ向かう。複雑エリアにはTX1と2がある。TX2の方が強い。TX2の電波は素直で安定している。比較的高いところにあるということなので、Aエリアと断定しそちらに向かう。
TX1が鳴いたが運悪く切通し。せっかくのチャンスなのに残念。前方に交差点が見え、何人かうろろしている。交差点で待つのはセオリーどおり。しかし、そこで待つのは間違い。私は、少し高くなっていて、周りの障害物から離れているB地点へまっしぐらにTX1が鳴いているうちにとまっしぐらに進む。

駅前(7番)から
由石塚車庫行き
自然の家前下車)
林公園西口下車)



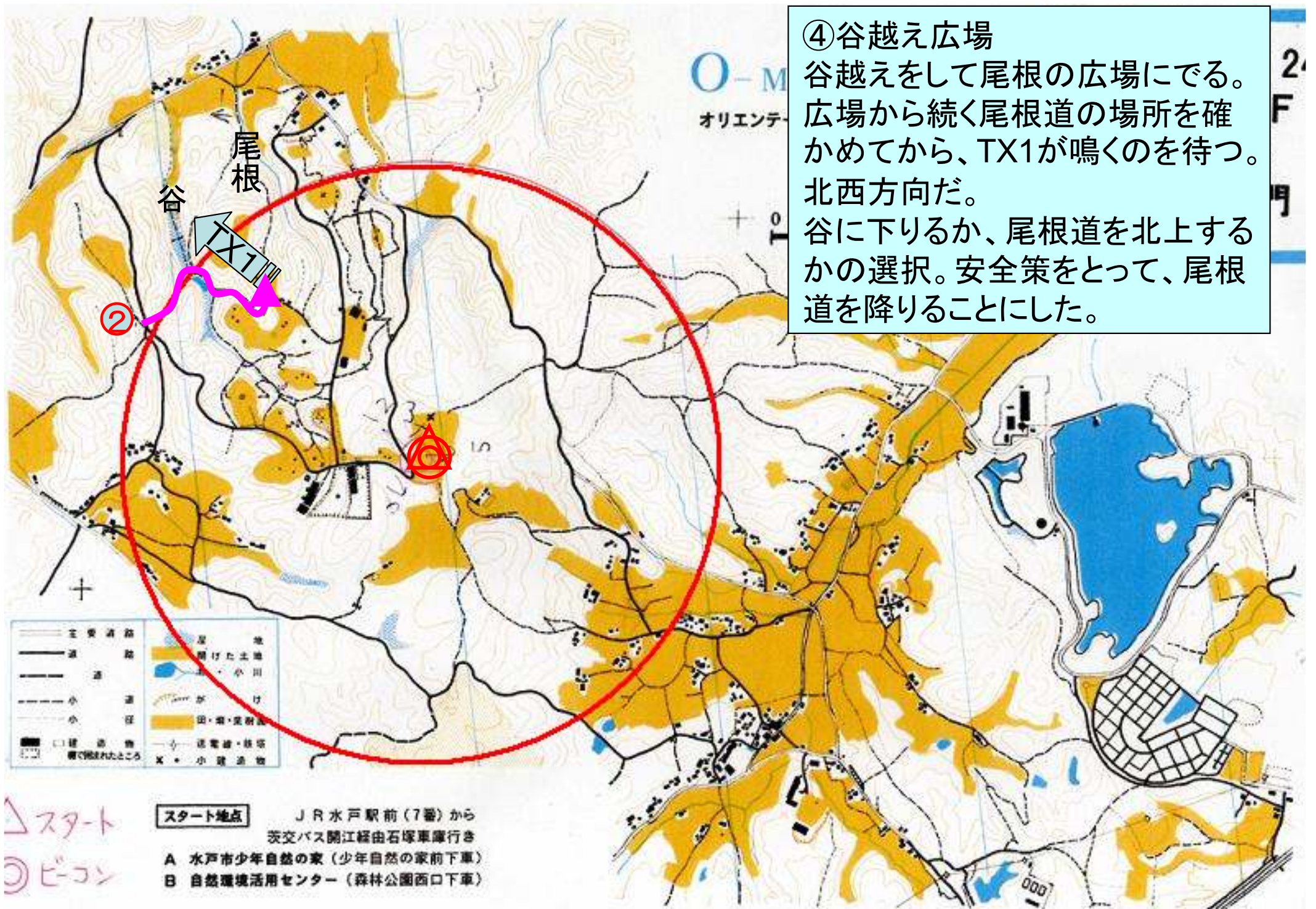
③TX2
 高台に上がったところで間一髪TX2
 に変わってしまった。残念。その
 まま止まらずにTX2ゲット。
 さて、次のターゲットの位置は良
 くわからないので。Aの尾根付近
 にあると予想。

- ・下に下りて行くか、
- ・谷越えをするか、
- ・山周り(スタート地点に戻る)を
 するか

の選択。安全策(行き着いたとこ
 ろは高所)で距離の短い谷越えを
 選択。
 あとで考えると、この段階でTX1
 の位置を把握できていなかったこ
 とが悔やまれる。

△スタート
 ◎ビーコン

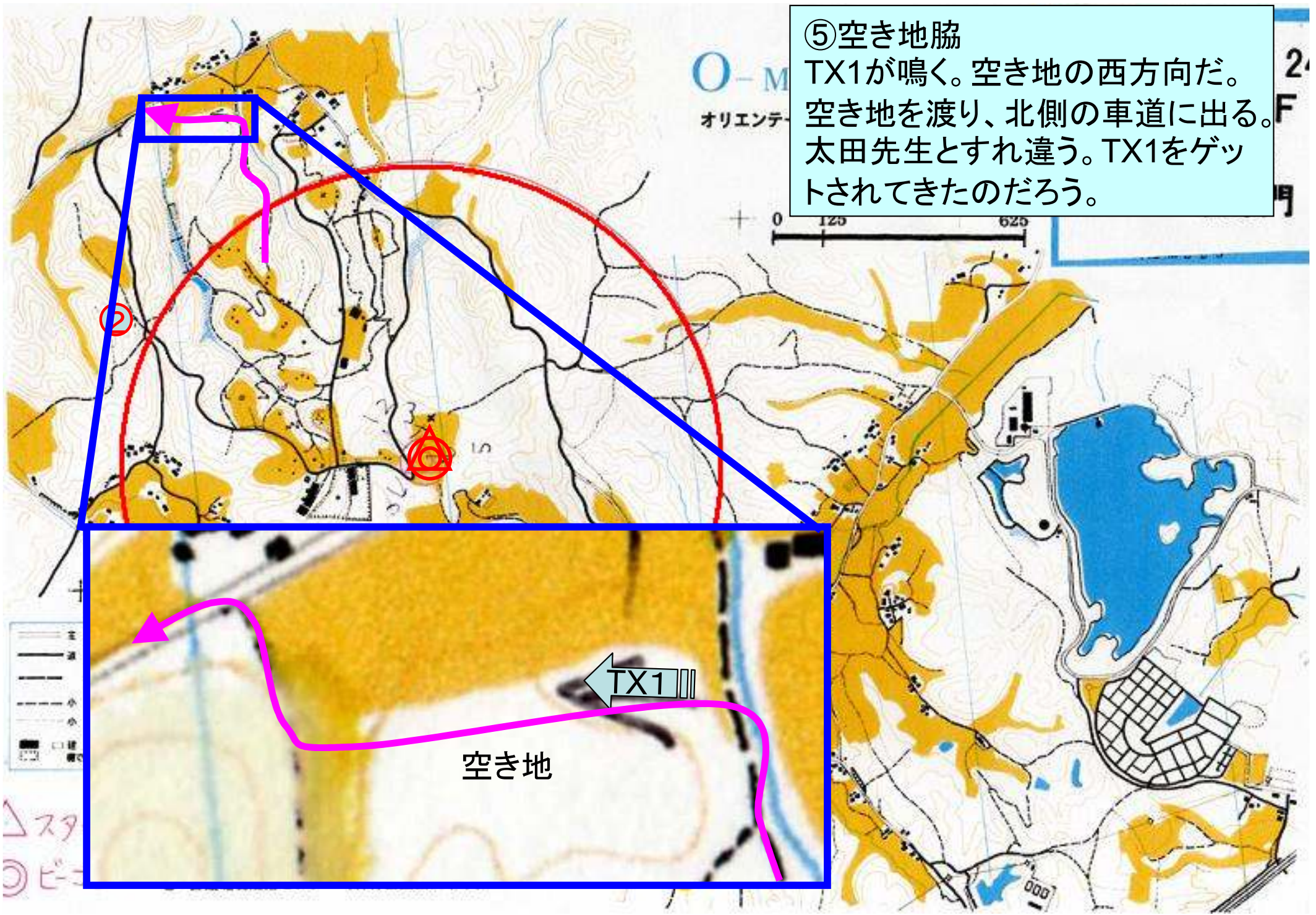
スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
 茨交バス開江経由石塚車庫行き
A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)
B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)



④谷越え広場
 谷越えをして尾根の広場にでる。
 広場から続く尾根道の場所を確
 かめてから、TX1が鳴くのを待つ。
 北西方向だ。
 谷に下りるか、尾根道を北上する
 かの選択。安全策をとって、尾根
 道を降りることにした。

⑤ 空き地脇

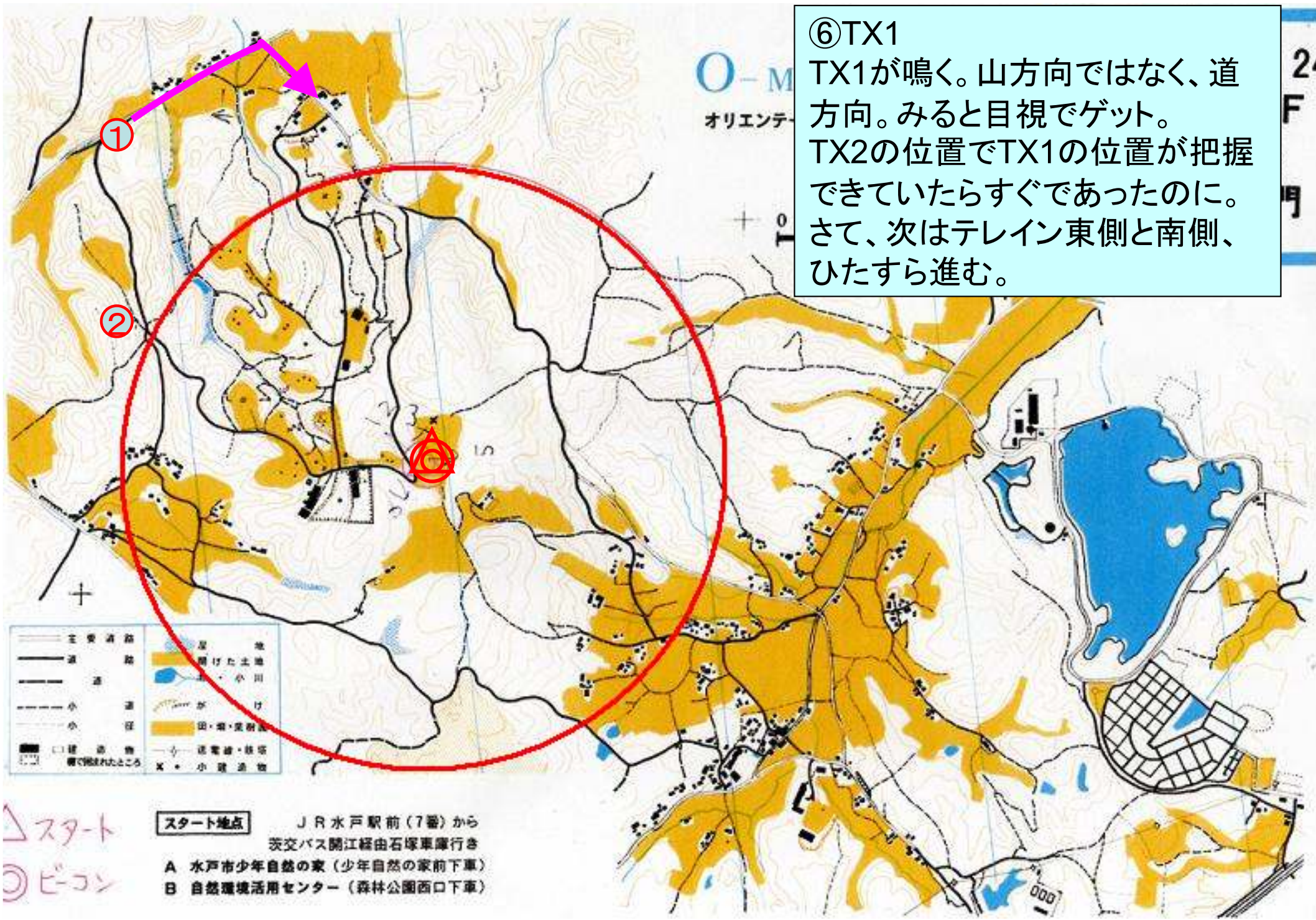
TX1が鳴く。空き地の西方向だ。
空き地を渡り、北側の車道に出る。
太田先生とすれ違う。TX1をゲッ
トされてきたのだろう。



TX1

空き地

△スタ
○ピ

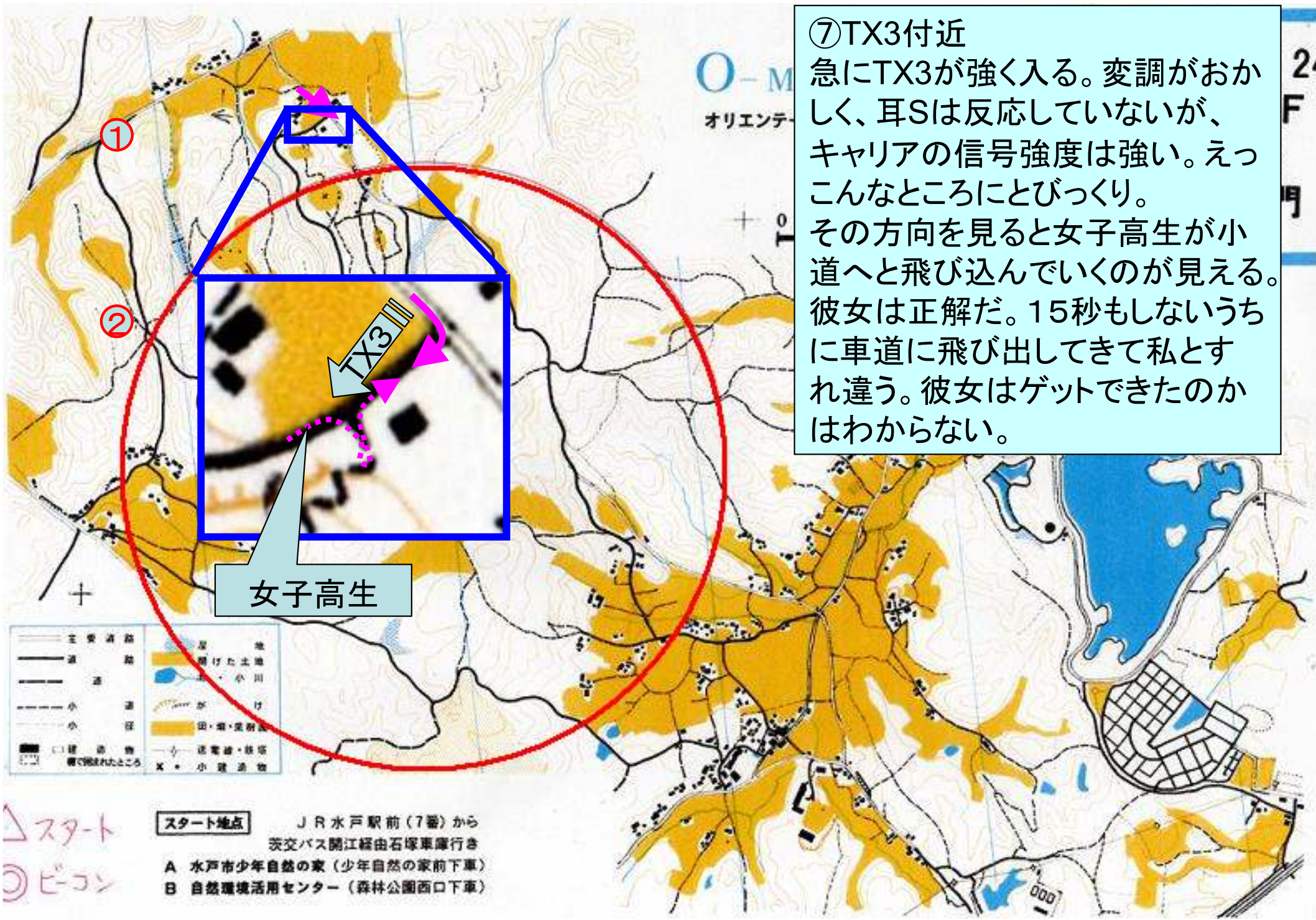


⑥TX1
 TX1が鳴く。山方向ではなく、道
 方向。みると目視でゲット。
 TX2の位置でTX1の位置が把握
 できていたらすぐであったのに。
 さて、次はトレイン東側と南側、
 ひたすら進む。

——	主要道路	——	崖
——	道	——	開けた土地
——	道	——	小川
---	小	——	がけ
---	道	——	田・畑・栗樹林
---	小	——	送電線・鉄塔
■	建物	○	小建物
□	建物		
□	建物		

△スタート
 ○ビーコン

スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
 茨交バス開江経由石塚車庫行き
A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)
B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)



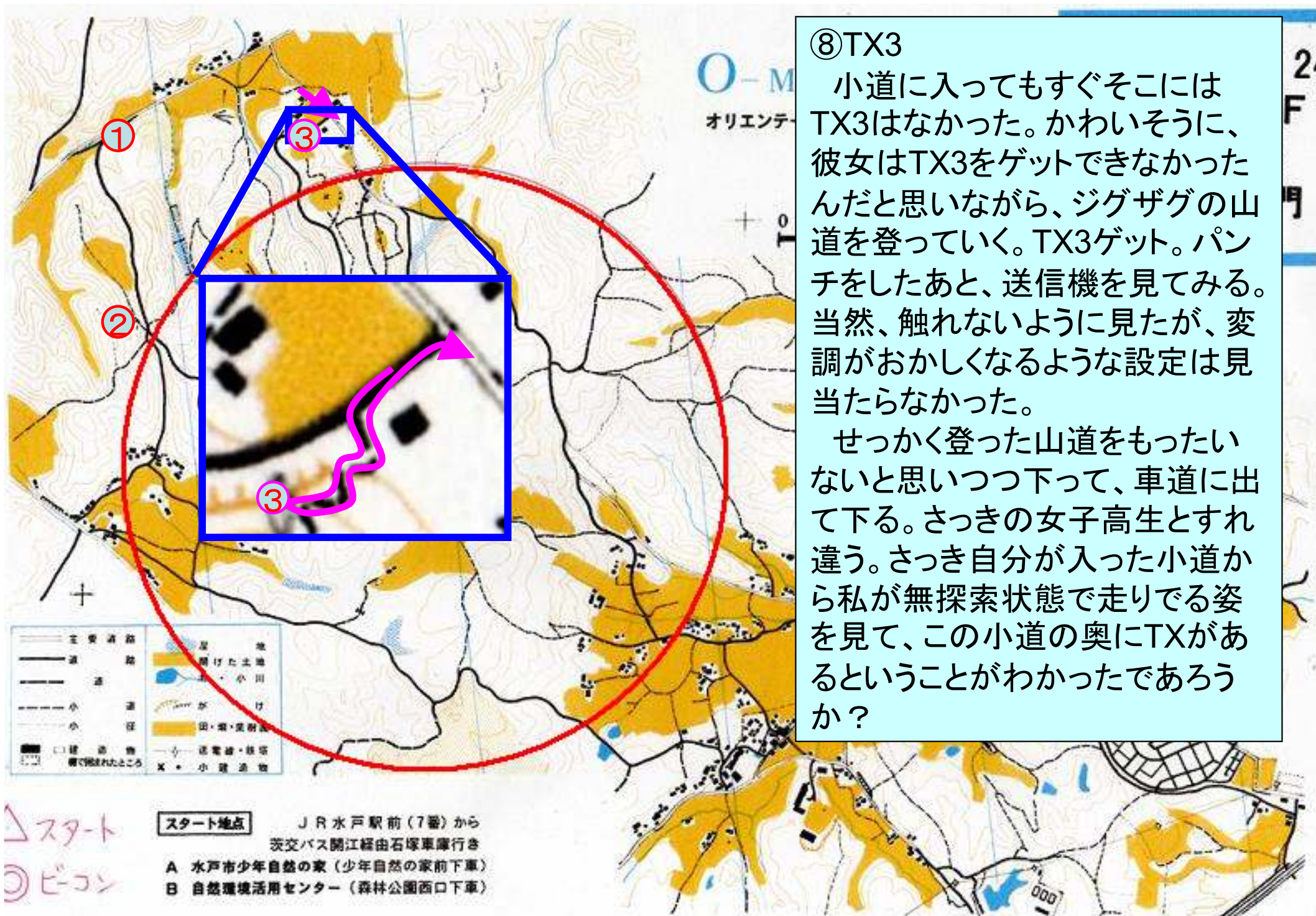
⑦TX3付近
 急にTX3が強くなる。変調がおかしく、耳Sは反応していないが、キャリアの信号強度は強い。えっこんなところにとびつき。その方向を見ると女子高生が小道へと飛び込んでいくの見える。彼女は正解だ。15秒もしないうちに車道に飛び出してきて私とすれ違う。彼女はゲットできたのかはわからない。

女子高生

——	主要道路	■	田・畑・栗樹園
——	道	■	田・畑・栗樹園
——	道	■	田・畑・栗樹園
---	小	■	田・畑・栗樹園
---	小	■	田・畑・栗樹園
■	建物	■	田・畑・栗樹園
■	建物	■	田・畑・栗樹園

スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
 茨交バス開江経由石塚車庫行き
 A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)
 B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)

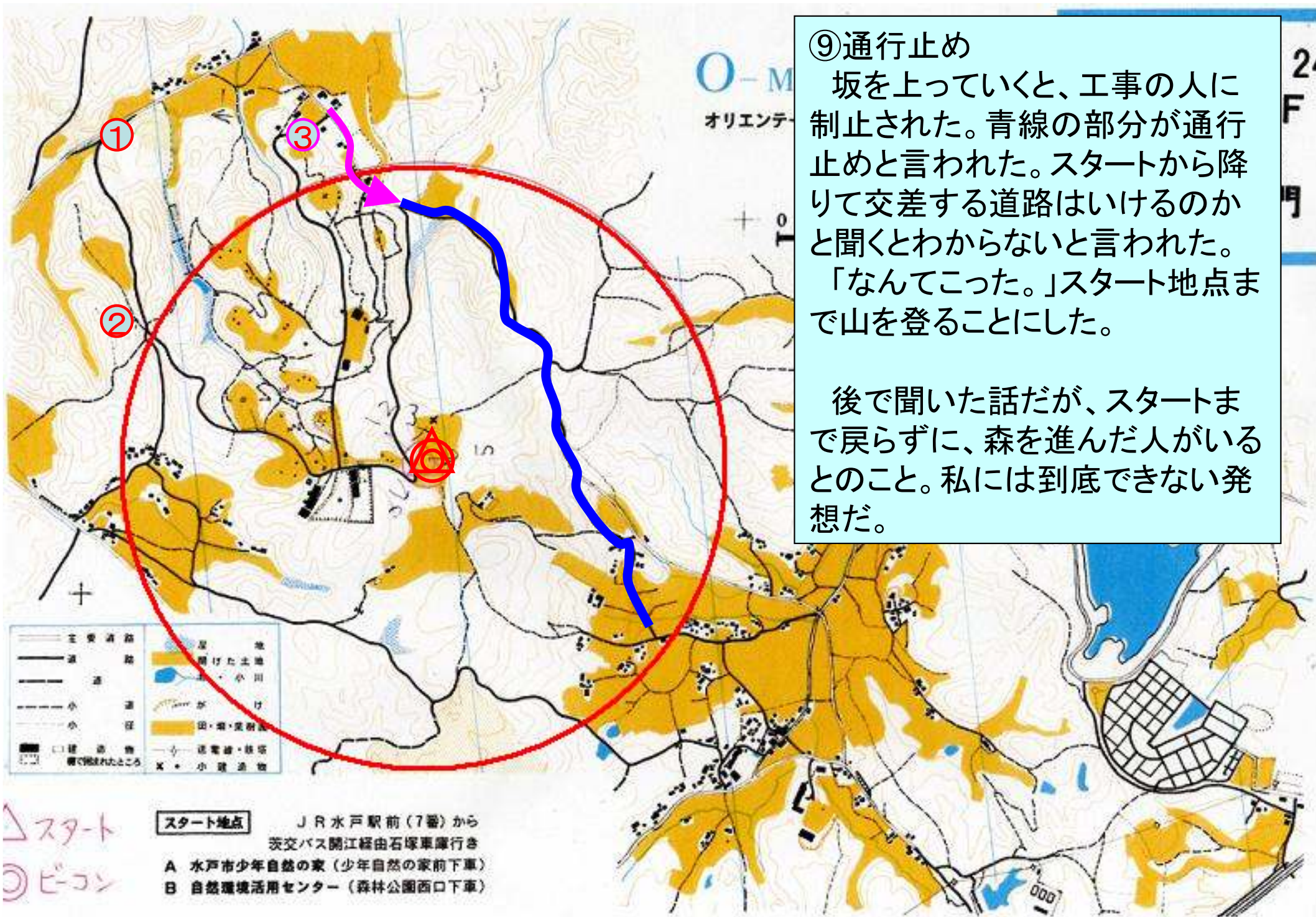
△スタート
 ◎ビーコン



⑧TX3

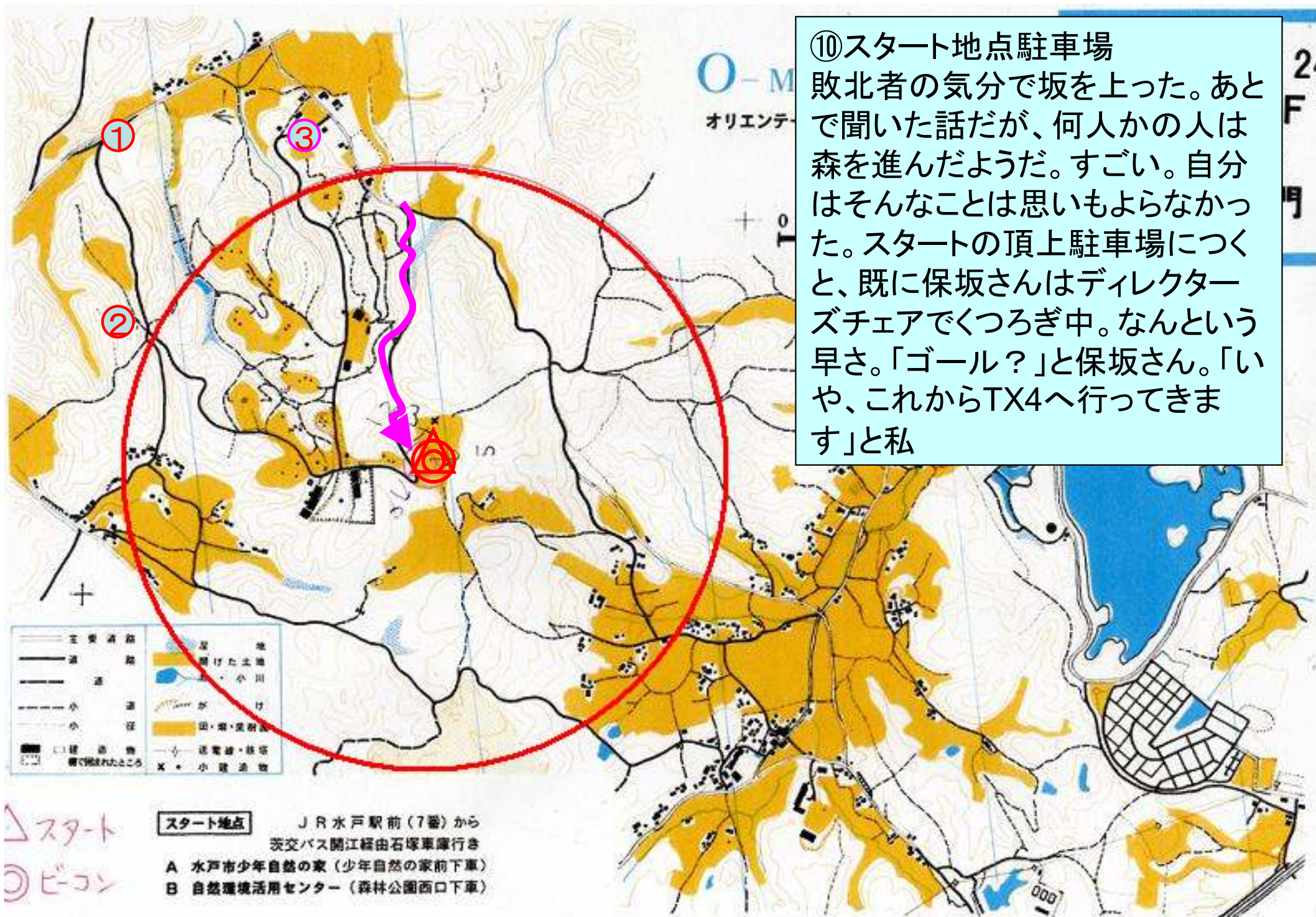
小道に入ってもすぐそこにはTX3はなかった。かわいそうに、彼女はTX3をゲットできなかったんだと思いながら、ジグザグの山道を登っていく。TX3ゲット。パンチをしたあと、送信機を試してみる。当然、触れないように見たが、変調がおかしくなるような設定は見当たらなかった。

せっかく登った山道をもったいないと思いつつ下って、車道に出て下る。さっきの女子高生とすれ違う。さっき自分が入った小道から私が無探索状態で走り回る姿を見て、この小道の奥にTXがあるということがわかったであろうか？



⑨通行止め
 坂を上っていくと、工事の人に
 制止された。青線の部分が通行
 止めと言われた。スタートから降
 りて交差する道路はいけるのか
 と聞くとわからないと言われた。
 「なんてこった。」スタート地点ま
 で山を登ることにした。

後で聞いた話だが、スタートま
 で戻らずに、森を進んだ人がいる
 とのこと。私には到底できない発
 想だ。



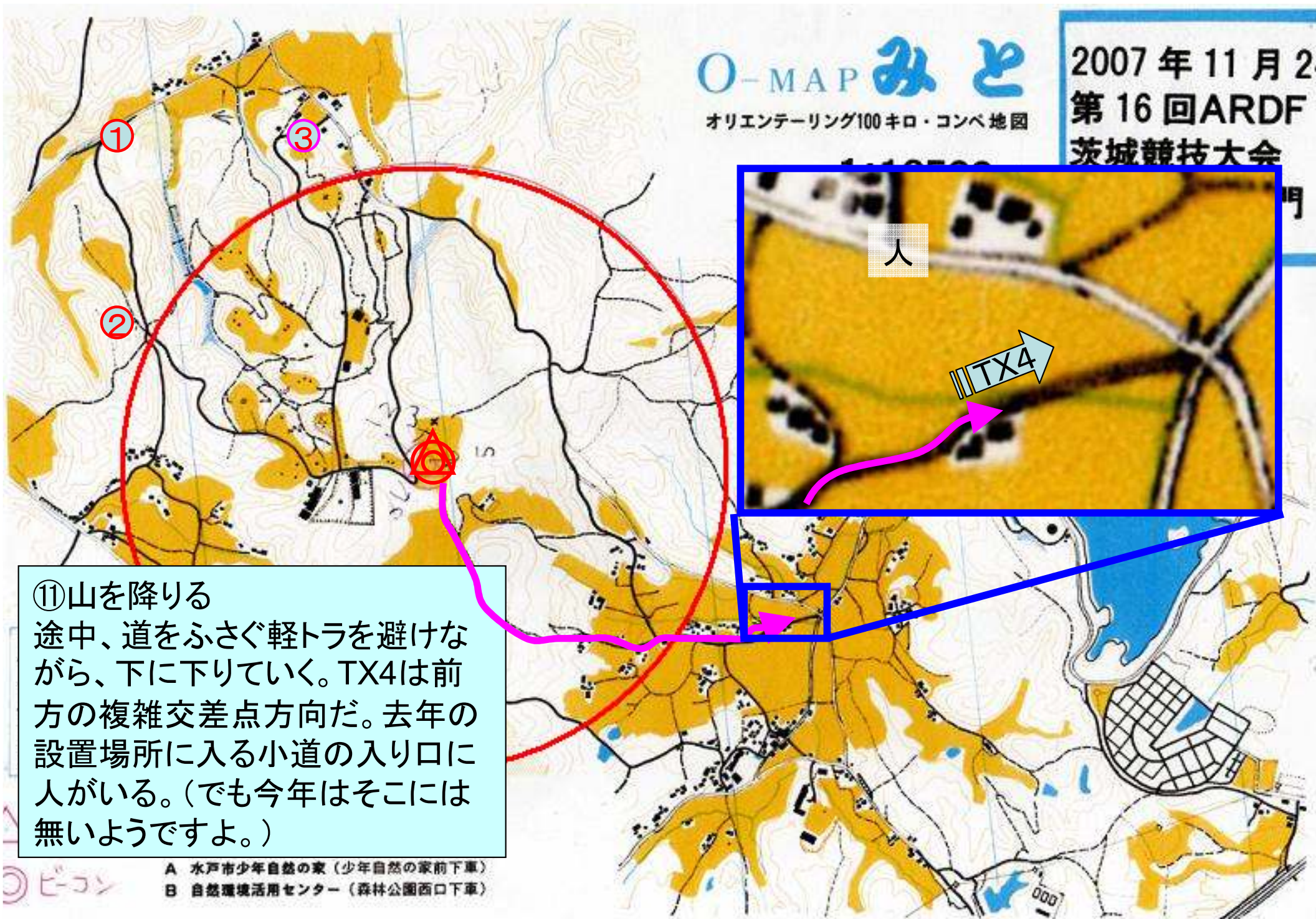
O-M
オリエンテ

⑩スタート地点駐車場
 敗北者の気分で坂を上った。あと
 で聞いた話だが、何人かの人
 は森を進んだようだ。すごい。自分
 はそんなことは思いもよらなかつ
 た。スタートの頂上駐車場につく
 と、既に保坂さんはディレクター
 ズチェアでくつろぎ中。なんとい
 う早さ。「ゴール？」と保坂さん。「い
 や、これからTX4へ行ってきま
 す」と私

——	主要道路	——	崖
——	道路	——	開けた土地
——	道	——	小川
---	小道	——	がけ
---	小径	——	田・畑・栗樹林
■	建物	——	送電線・鉄塔
□	建物	×	小建物
□	建て壊れたところ		

△スタート
 ○ビーコン

スタート地点 JR水戸駅前(7番)から
 茨交バス開江経由石塚車庫行き
 A 水戸市少年自然の家(少年自然の家前下車)
 B 自然環境活用センター(森林公園西口下車)

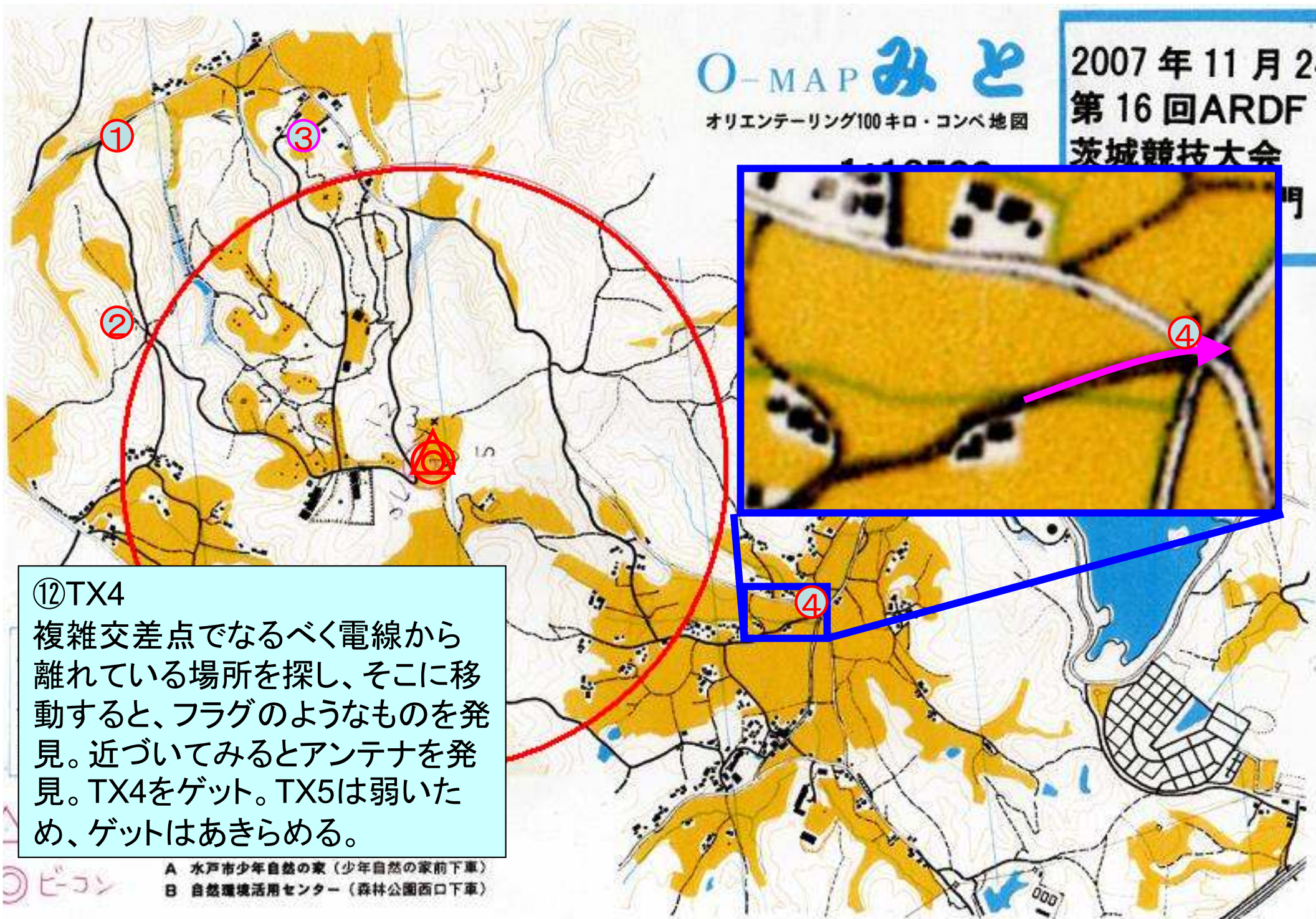


⑪山を降りる

途中、道をふさぐ軽トラを避けながら、下に下りていく。TX4は前方の複雑交差点方向だ。去年の設置場所に入る小道の入り口に人がいる。(でも今年はそのには無いようですよ。)

A 水戸市少年自然の家 (少年自然の家前下車)

B 自然環境活用センター (森林公園西口下車)



⑫TX4

複雑交差点でなるべく電線から離れている場所を探し、そこに移動すると、フラグのようなものを発見。近づいてみるとアンテナを発見。TX4をゲット。TX5は弱いため、ゲットはあきらめる。

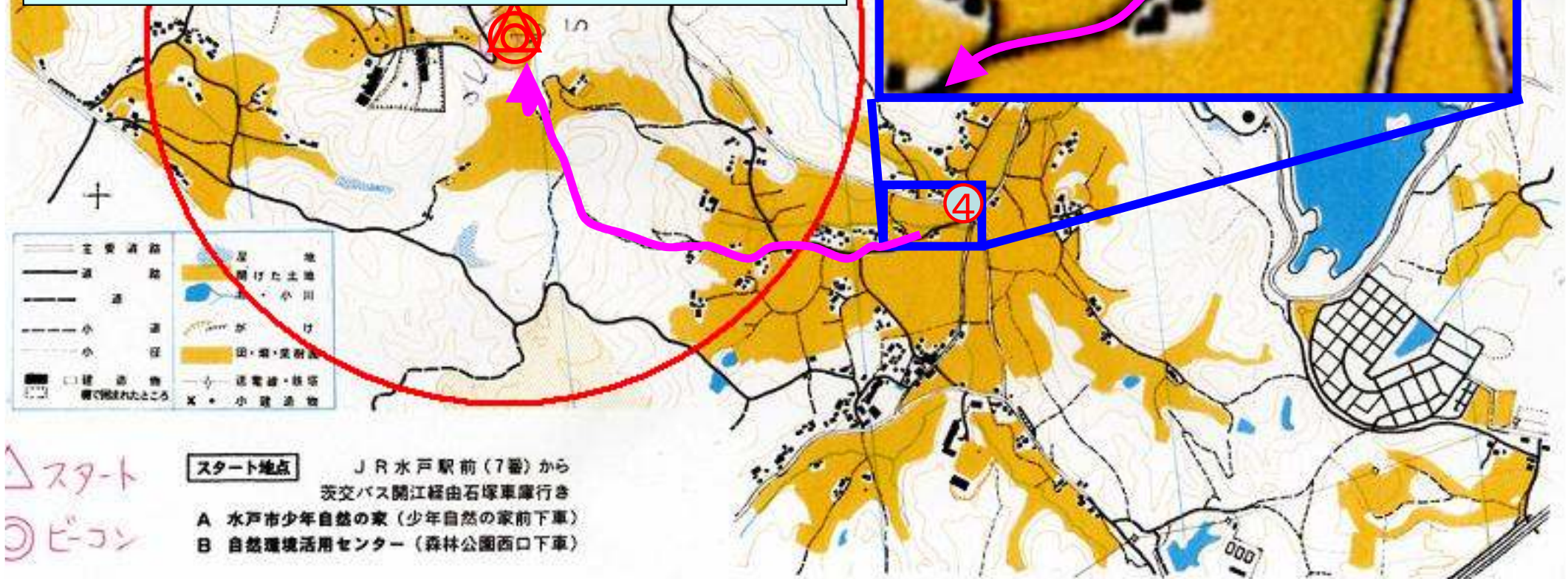
A 水戸市少年自然の家（少年自然の家前下車）

B 自然環境活用センター（森林公園西口下車）

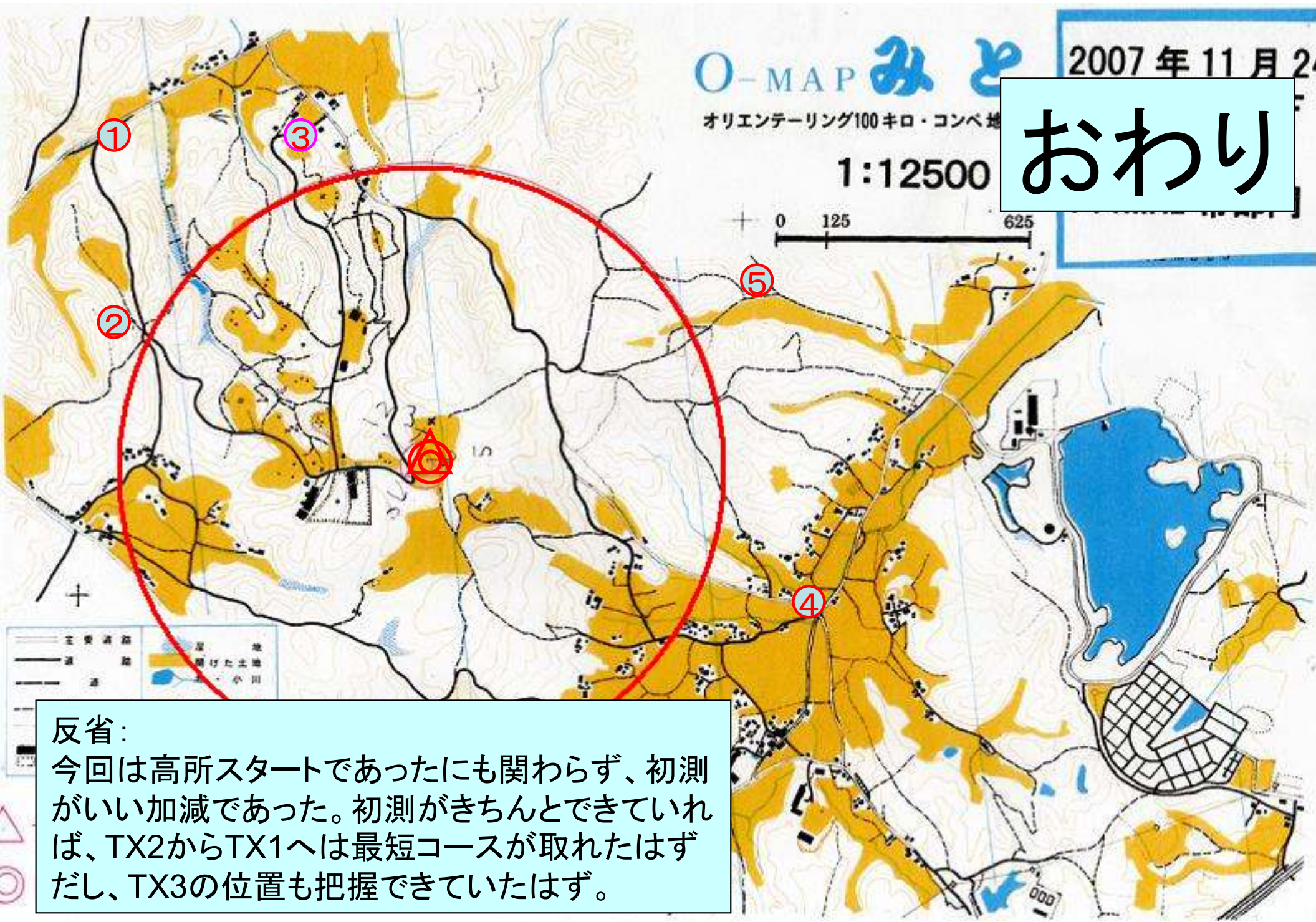
⑬ゴール

TXから離れたところで、TX4が鳴く。さきほどの人が小道から走って出てくるが、反対のゴール方向に走っていく。あらあら反射波を拾ってしまったのだろうか？ 小道の入り口で待機していればゲットできたはずなのに。

私はひたすら今来た道に戻る。登り登り登りの連続。もう、スピードは史上最低のスピード。今大会は何回登ったり降りたりしたことか。とほほ。頂上の駐車場に戻ると大勢の人。みんな早いなあ。そして私もゴール。



おわり



反省：
今回は高所スタートであったにも関わらず、初測
がいい加減であった。初測がきちんとできていれ
ば、TX2からTX1へは最短コースが取れたはず
だし、TX3の位置も把握できていたはず。